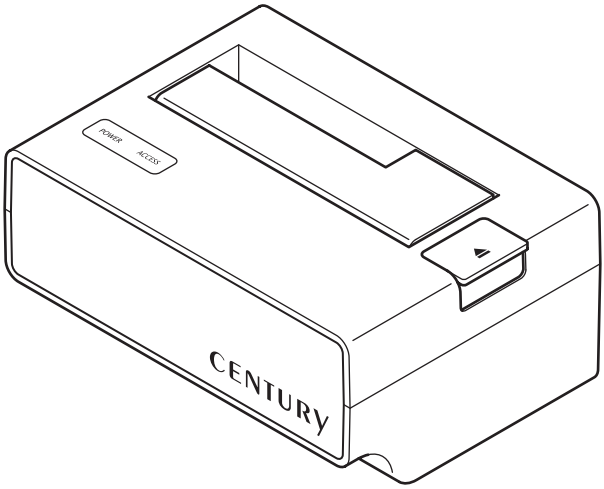
裸族のお立ち台 IDE プラス

CROISU2
取扱説明書



CENTURY

【はじめに】

このたびは CROISU2 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用の前に本取扱説明書を必ずお読みください。

【安全上のご注意<必ず守っていただくようお願いいたします>】

・ご使用の前に、安全上のご注意をよくお読みの上、正しくご使用ください。
・この項に記載しております注意事項、警告表示には、使用者や第三者への肉体的危害や財産への損害を未然に防ぐ内容を含んでおりますので、必ずご理解の上、守っていただくようお願いいたします。

■次の表示区分に関しましては、表示内容を守らなかった場合に生じる危害、または損害程度を表します。

⚠警告	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性を想定した内容を示します。
⚠注意	この表示で記載された文章を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害ないし物的障害を負う可能性を想定した内容を示します。

⚠警告

■煙が出る、異臭がする、異音がでる
煙が出る、異臭がする、異音がでるときはすぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の分解、改造をしない
機器の分解、改造をすることは火災や感電の原因となります。
点検及び修理は、お買い上げの販売店へ依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■機器の内部に異物や水を入れない
筐体のすきまから内部に異物や水が入った場合は、すぐに機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店へ修理を依頼されるか、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■湿気や水気のある場所では使用しない
台所や風呂場等の、湿気や水気のある場所では使用しないでください。機器の故障や、火災の原因となります。

■不安定な場所に機器を置かない
ぐらついた台の上や傾いた場所、不安定な場所に機器を置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。そのまま使用されると火災の原因になる可能性があります。

■電源の指定許容範囲を守る
機器指定の電圧許容範囲を必ず守ってください。定格を越えた電圧での使用は火災や感電、故障の原因となります。

■電源コード、接続コードの取扱いについて
電源コード、接続コードの上に機器本体や重い物を置いたり、釘等で固定すると傷ついて芯線の露出や断線等による火災や感電の原因になったり、機器の故障につながりますので必ず避けてください。また、足を引っかけるおそれのある位置等には設置しないでください。

■雷が鳴り出したら電源コードに触れない
感電したり火災の原因となります。

■ぬれた手で機器に触れない
ぬれたままの手で機器に触れないでください。感電や故障の原因になります。

⚠注意

■設置場所に関しての注意事項
以下の様な場所に置くと火災や感電、または故障の原因となります。
・熱、暖房器具（ストーブ、アイロン、ヒーター等）の近く。
・油煙や湯気のあたる調理台、加湿器等湿気の近く等ほこりや湿気の多い場所。
・直射日光のあたる場所。

■長期間使用しない場合は接続コードを外してください
長期間使用しない場合は接続コードを外して保管してください。

■機器を移動するときは接続コード類をすべて外してください
移動する際は必ず接続コードを外して行ってください。接続したままの移動はコードの断線等の原因となります。

■小さいお子様を近づけない
お子様が機器に乗ったりしないよう、ご注意ください。怪我等の原因になることがあります。

■静電気にご注意ください
本製品は精密電子機器ですので、静電気を与えると誤動作や故障の原因となります。

■もくじ

■ はじめに …… i
■ 安全上のご注意 …… i
■ もくじ …… ii
■ 特長 …… 1
■ 制限事項 …… 1
■ ご使用の前に …… 1
■ 製品仕様 …… 2
■ 製品内容 …… 2
■ 各部の名称 …… 2
■ 対応 HDD/SSD …… 3
■ 対応機種 …… 3
■ 対応 OS …… 3
■ ハードディスクの取り付け方法 …… 4
■ SATA HDD/SSD の取り付け方法 …… 5
■ ハードディスクの取り外し方法 …… 6
■ IDE HDD/SSD の取り付け方法 …… 9
■ ケーブル類の収納方法 …… 13
■ PC との接続方法 …… 15
■ 電源の投入方法 …… 16
■ Windows での使用方法 …… 17
■ Mac での使用方法 …… 27
■ トラブルシューティング …… 29
■ FAQ …… 30

【特長】

■ SATA2.5"&3.5" HDD/SSD を上から差し込むクレードルスタイルの HDD ツール！
■ SATA に加え、2.5"&3.5" IDE HDD/SSD も接続可能！
■ IDE ドライブを接続するケーブル類を本体内に収納可能！
■ PC との接続は簡単・お手軽な USB2.0 接続！

【制限事項】

・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、など人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備、機器での使用は意図されておりません。このような環境下での使用に関しては一切の責任を負いません。
・ラジオやテレビ、オーディオ機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
・本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内での使用を前提としており、日本国外で使用された場合の責任は負いかねます。
・本機は SATA・PATA HDD/SSD 組み込み用途用です。光学ドライブや IDE 接続 FDD 等の動作はサポート外とさせていただきます。

【ご使用の前に】

・本書の内容等に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容に関しましては、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたら、弊社サポートセンターまでご連絡頂きます様お願いします。
・本製品を使用することによって生じた、直接・間接の損害、データの消失等については、弊社では一切その責を負いません。
・Mac は Apple Inc. の登録商標です。
・Windows は Microsoft Corporation の 登録商標です。
・改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

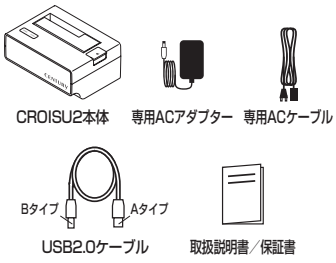
本機は HDD/SSD 等の SATA/PATA 機器を剥き出しのまま PC に接続するための製品です。
本来、ケースなどに内蔵して使用する SATA/PATA 機器を露出したまま通電させることになりますので、感電等の事故、及び SATA/PATA 機器への埃や水分等の付着には十分ご注意ください。
また、静電気も機器を破壊する原因となりますので、SATA/PATA 機器の取り扱い時には静電気防止バンド等を用いて、故障の防止に努めてください。

【製品仕様】

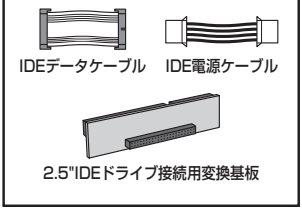
■型番　　：CROISU2
■商品名　　：裸族のお立ち台 IDE プラス
■インターフェイス　：USB2.0
■ USB コネクタ形状：レセプタクル B タイプ
■重量　　：467g（ドライブ含まず）
■寸法　　：幅 137mm ×高さ 65mm ×奥行 100mm（突起部除く）
■温度、湿度　　：温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%（結露無き事、接続する PC の動作範囲内であること）
■ AC アダプター仕様：AC 入力 100-240V　0.8A、DC 出力 12V　2.5A
※本製品にハードディスクドライブは含まれておりません。

【製品内容】

・CROISU2 本体
・専用 AC アダプター × 1
・専用 AC ケーブル × 1
・USB2.0 ケーブル × 1
・取扱説明書 / 保証書（本書）
※内蔵するハードディスクは
　別途ご用意ください。

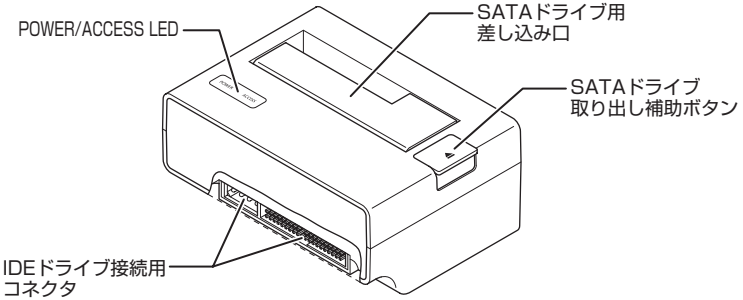


出荷時本体内に収納されている付属品

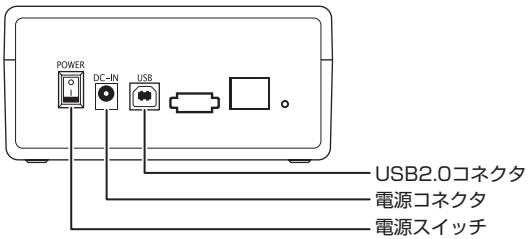


【各部の名称】

〈正面〉



〈背面〉



【対応 HDD/SSD】

＜ HDD ＞

■シリアル ATA（SATA）および IDE（PATA）仕様の 2.5 インチ /3.5 インチ HDD
※ 3.3V 駆動の 2.5 インチ HDD は動作しません。

＜ SSD ＞

■ MLC タイプの 2.5 インチ SATA および IDE SSD
※ ZIF および特殊形状（ASUS Eee PC の内蔵 SSD）の SSD は接続できません。
また、SLC タイプの SSD につきましては動作保証外とさせていただきます。
※ 3.3V 駆動の SSD は動作しません。

■弊社動作確認済み SSD
・CFD 販売　CSSD-SM64NP（PHISON 製コントローラチップ　MLC）
・OCZ　OCZSSD2-1VTXT30G（INDILINX 製コントローラチップ　MLC）
・トランセンド　TS32GSSD25S-M（Jmicron 製コントローラチップ　MLC）

【対応機種】

＜ Windows ＞

・USB2.0 インターフェイスポートを搭載した PC/AT 互換機（USB2.0 モード動作時）
・USB1.1 インターフェイスポートを搭載した PC/AT 互換機（USB1.1 モード動作時）
・Pentium 1GHz/ メインメモリ 512MB 以上
※ intel チップセット搭載モデル推奨
※ SIS7000/7001/7002. PCI to USB Host Controller 搭載 PC は、USB Host Controller の問題で正常に動作しない可能性があります。

＜ Mac ＞

・MacPro、Power Macintosh G5、Mac mini、eMac、iMac、MacBook Pro、Power Book G4、MacBook、iBook G4（USB2.0 インターフェイス標準搭載モデル）

【対応 OS】

＜ Windows ＞

・WindowsXP（SP3）32bit、WindowsVista 32bit、Windows7 32bit/64bit
※ Windows95/Windows98/Windows98SE/Windows3.x/WindowsNT/WindowsMe/Windows2000 では動作しません。

＜ Mac ＞

・Mac OS X（10.4 以降）
※ USB2.0 ポートを標準搭載していない機種に関してはサポート対象外となります。

※製品の性質上、全ての環境、組み合わせでの動作を保証するものではありません。

HDD コネクタの取り扱いについて
HDD の保護のために、未使用時は本製品から HDD を取り外して保管してください。
HDD コネクタ全般にはメーカーの推奨する HDD の着脱保証回数が設定されております。
この回数を超えるとHDDとしての品質を保証できませんので、着脱する回数は必要最小限にてご使用ください。

【ハードディスクの取り付け方法】

■ハードディスク接続の前に

・ハードディスクおよび本製品の基板部は精密機器ですので、衝撃には十分ご注意ください。

・ハードディスク接続の際には、静電気に十分注意してください。

人体に滞留した静電気が精密機器を故障させる原因になる事があります。

作業の前に、金属のフレームなどに触れて放電するか、静電気防止バンドなどをお使いください。

SATAドライブとIDEドライブの同時接続について

本製品は、SATAドライブとIDEドライブの同時接続が可能ですが、ACアダプター容量の関係上、消費電力の高いドライブを接続するとスピンアップに失敗したり、認識しない場合があります。
同時接続する際はドライブの消費電力をご確認の上、接続してください。

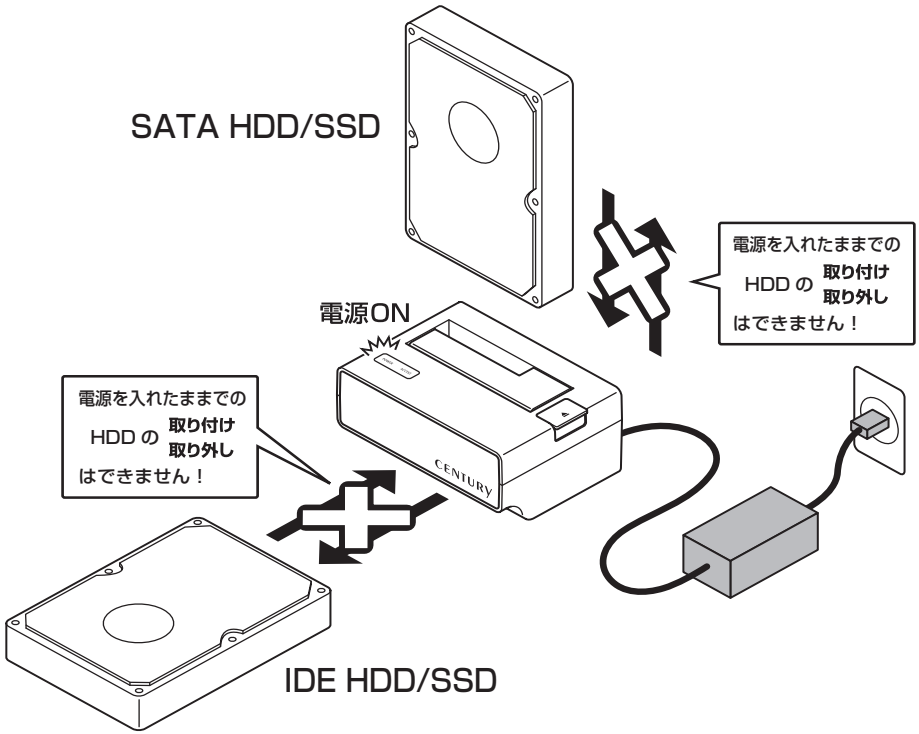
⚠警告

■接続及び電源投入の順序にご注意ください！！

・本機はまず HDD を接続後、電源を投入して認識する仕様となっております。

・本機のみの接続、または電源投入後の抜き差し（ホットスワップ）には対応しておりません。

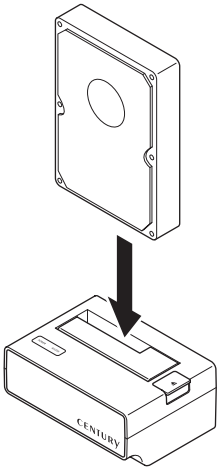
上記のような接続及び電源投入を行うと、データの破損や本機または接続した HDD の故障をまねく可能性がございます。



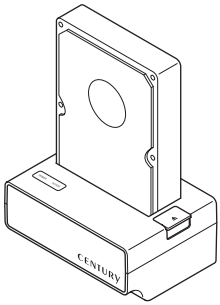
【SATA HDD/SSD の取り付け方法】

■ 3.5” HDD の取り付け方法

1：HDD のコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本機にゆっくり差し込みます。

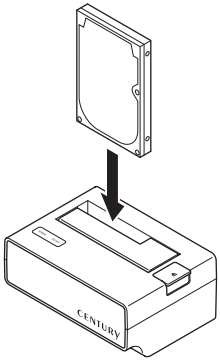


〈完成図〉

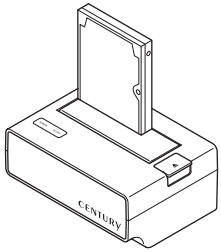


■ 2.5” HDD の取り付け方法

1：HDD のコネクタ部分を下側にし、垂直に立てた状態で本機にゆっくり差し込みます。



〈完成図〉



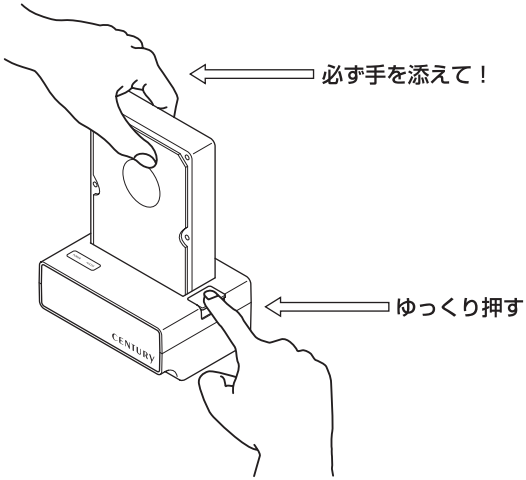
■注意！

HDD を装着する際には、HDD の向きと SATA コネクタの位置に注意してゆっくり差し込んでください。
力まかせに押し込むと破損や故障の原因となります。

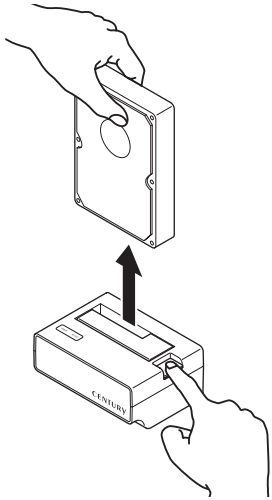
【ハードディスクの取り外し方法】

※本製品は SATA HDD のホットスワップには対応しておりません。
HDD を取り外す際は、必ず電源を OFF にしてから行うようにしてください。

1：HDD に手を添えながら、HDD 取り出し補助ボタンをゆっくり押します。



2：ボタンを押すと、HDD がせり出してきますのでゆっくりと垂直に HDD を取り外します。



■注意！
HDD を取り外す際は必ず HDD に手を添えて行ってください。
手を添えずに取り外しを行うと、HDD のコネクタを破損するおそれがあります。

■ IDE HDD/SSD の取り付けを行う前に

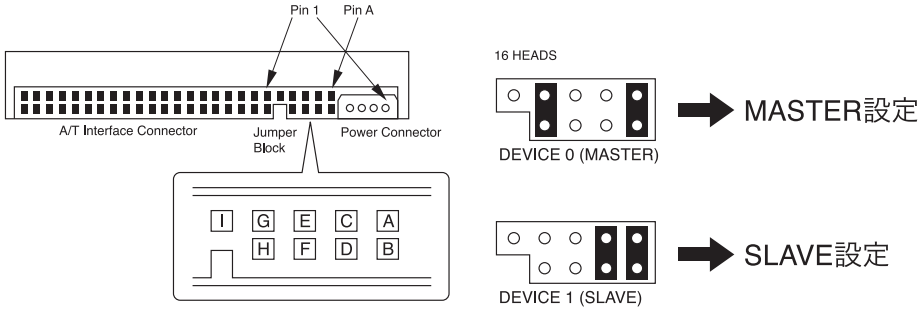
・ハードディスクの設定を行う
HDD の設定を確認します。設定は HDD の取扱説明書を参照してください。通常、出荷時は「MASTER」に設定されていますが、コンピュータにいちどでも接続した HDD は設定が変わっている場合がありますので、ご注意ください。

※ Single モードのある HDD(WesternDigital 製 HDD 等) は、Single モードに設定をしてください。

■HDD 2 台同時接続時の IDE ドライブのジャンパ設定について

・本製品に SATA ドライブと IDE ドライブを 2 台同時に接続する場合、IDE ドライブのジャンパ設定を「SLAVE」にする必要があります。
IDE ドライブのみを本製品に接続する場合は、「MASTER」「SLAVE」どちらの設定でも問題ありません。

[例]HITACHI製HDDの場合



（注）この設定は一例です。実際の設定はお使いの IDE 機器の取扱説明書をご参照ください。

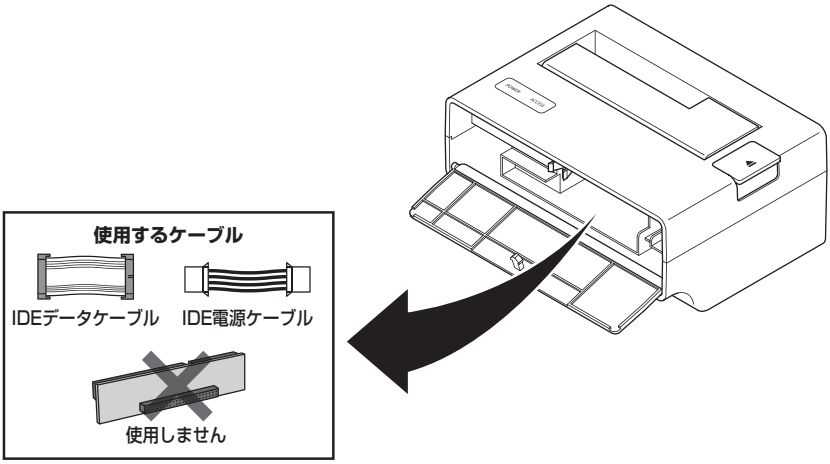
■HDD 2 台同時接続時の消費電力について

・本製品は、SATA ドライブと IDE ドライブの同時接続が可能ですが、AC アダプター容量の関係上、消費電力の高いドライブを接続するとスピンアップに失敗したり、認識しない場合があります。同時接続する際はドライブの消費電力をご確認の上、接続してください。

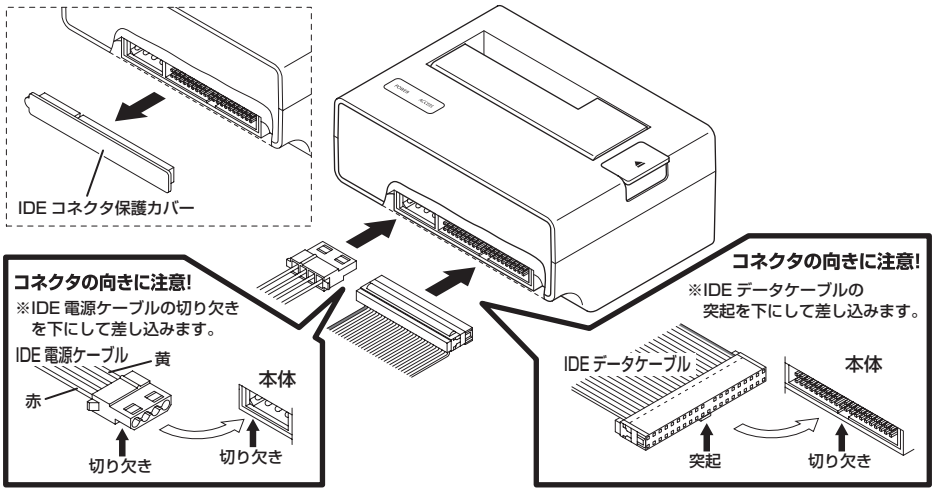
【IDE HDD/SSD の取り付け方法】

■ 3.5” HDD の取り付け方法

1：本体の IDE ケーブル類収納部より、IDE データケーブル、IDE 電源ケーブルを取り出します。



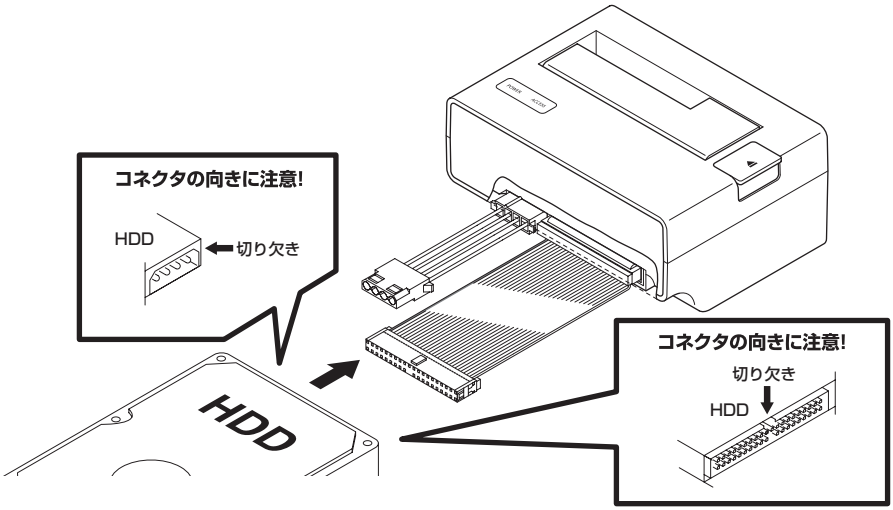
2：本体 IDE 接続コネクタの保護カバーを取り外し、IDE データケーブルと IDE 電源ケーブルを図のように差し込みます。



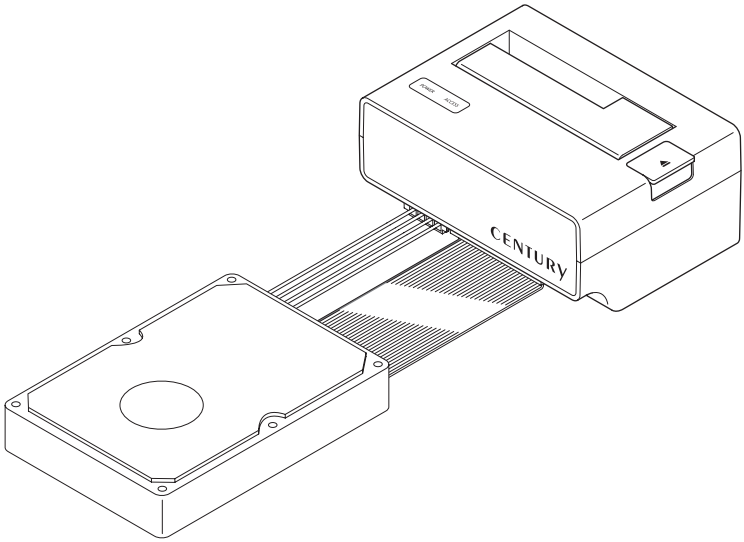
警告

※各ケーブル類のコネクタの向きを間違えて接続すると、HDD および本 CROISU2 が **確実に破損** します !!
必ず差し込む向きを確認してから接続を行ってください。

3：HDD に IDE データケーブル、IDE 電源ケーブルを差し込みます。



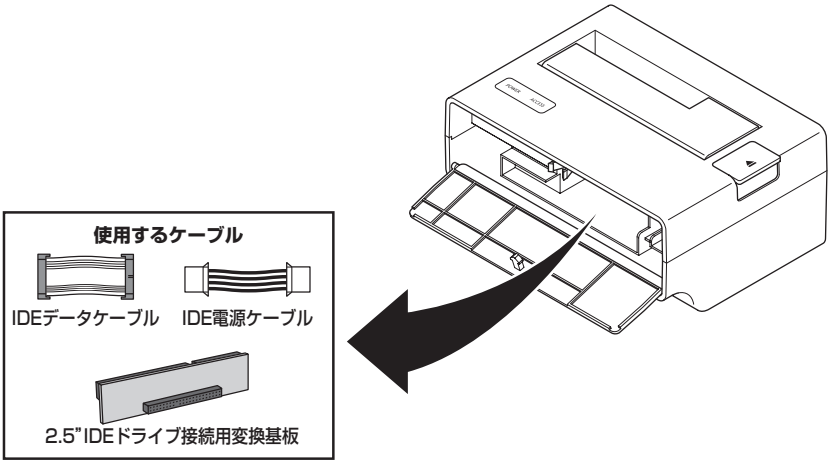
〈完成図〉



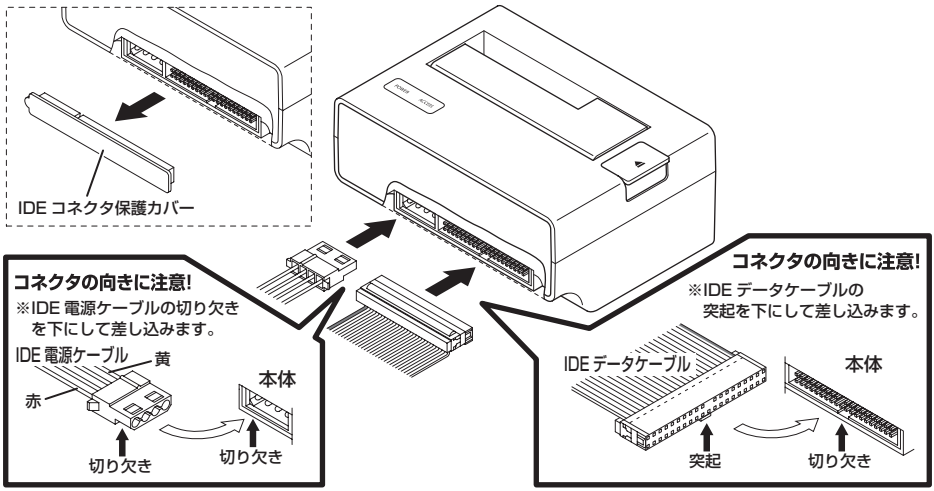
・取り外す際は逆の手順をたどってください。

■ 2.5"HDD/SSD の取り付け方法

1：本体の IDE ケーブル類収納部より、IDE データケーブル、IDE 電源ケーブル、2.5"IDE ドライブ接続用変換基板を取り出します。



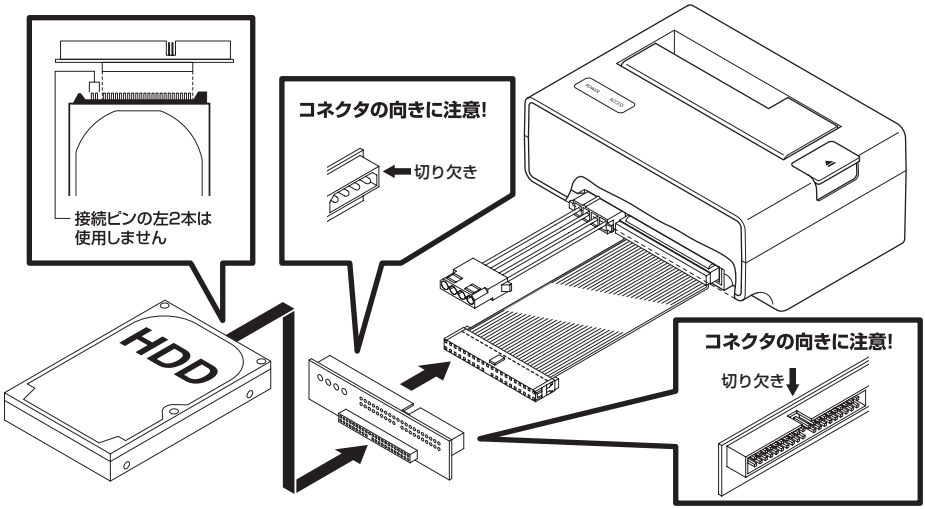
2：本体 IDE 接続コネクタの保護カバーを取り外し、IDE データケーブルと IDE 電源ケーブルを図のように差し込みます。



警告

※各ケーブル類のコネクタの向きを間違えて接続すると、HDD および本 CROISU2 が **確実に破損** します !!
必ず差し込む向きを確認してから接続を行ってください。

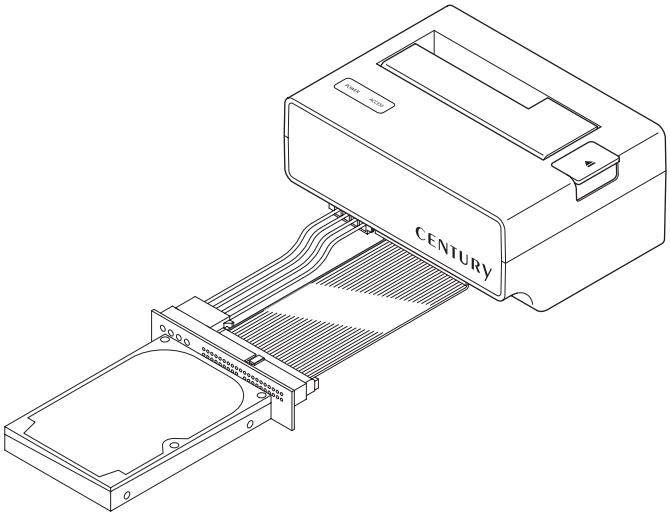
3：2.5IDE ドライブ接続用変換基板に IDE データケーブル、IDE 電源ケーブルを差し込み、HDD に接続します。



警告

※各ケーブル類のコネクタの向きを間違えて接続すると、HDD および本 CROISU2 が **確実に破損** します !!
必ず差し込む向きを確認してから接続を行ってください。

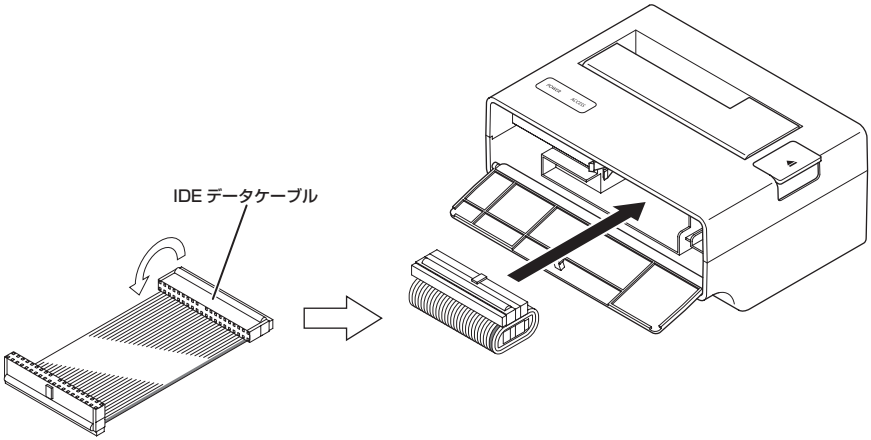
〈完成図〉



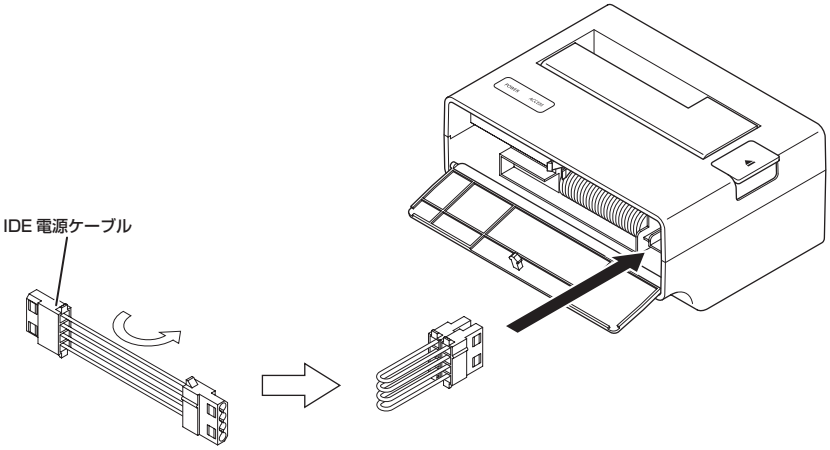
・取り外す際は逆の手順をたどってください。

【ケーブル類の収納方法】

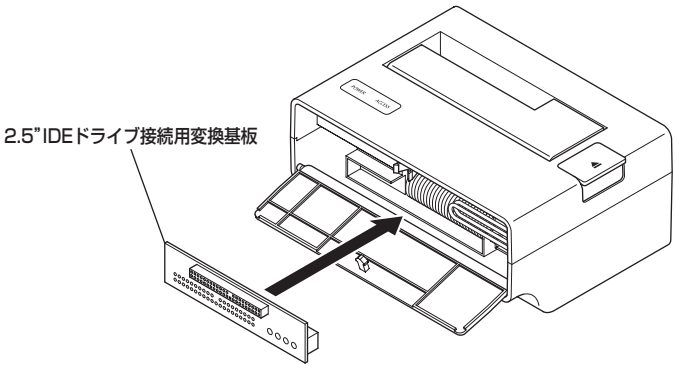
1：片側のコネクタを折りたたんでいき、最後にもう片方のコネクタをかぶせるように折りたたみ、ケースに収納します。



2：ケーブルを中央で折り、コネクタどうしを合わせ、ケースに収納します。



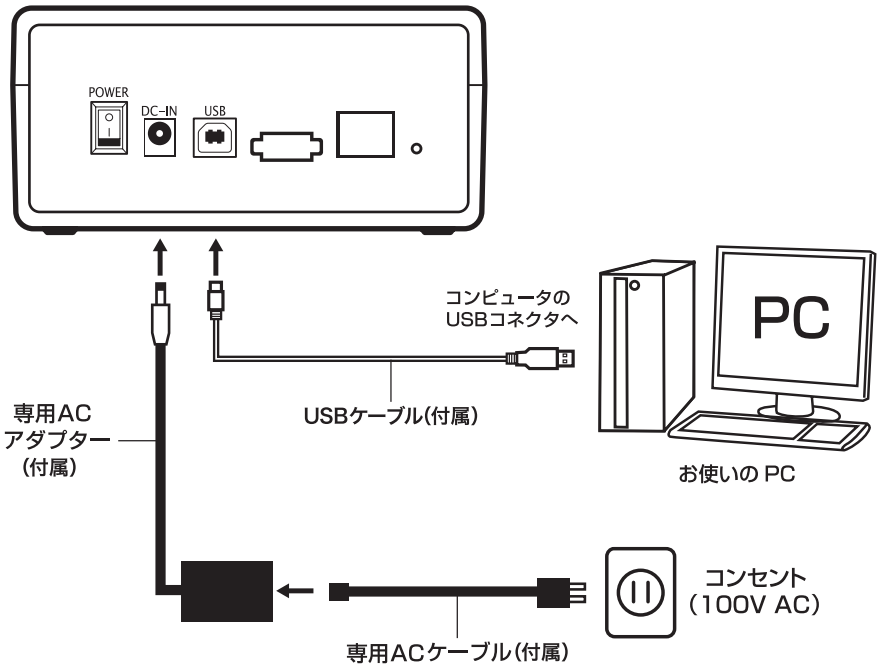
3：2.5”IDE ドライブ接続用変換基板を収納します。



【PC との接続方法】

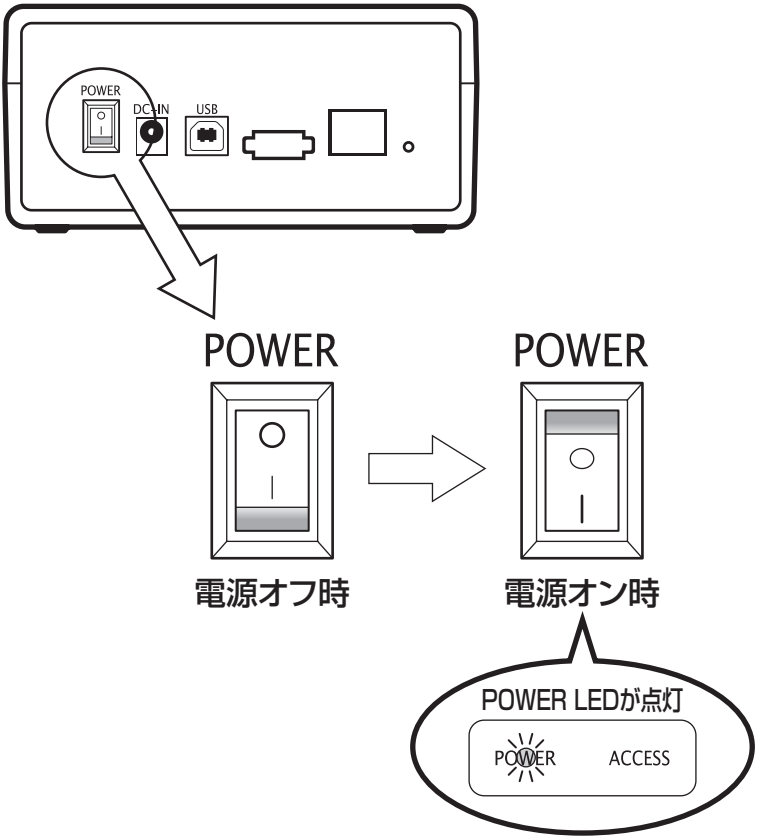
電源とコンピュータに接続し、使用の準備は完了です。

〈背面〉



【電源の投入方法】

PC との接続を完了後、CROISU2 背面の電源スイッチをオンにすると、POWER LED が点灯し、HDD が回転します。



【Windows での使用方法】

■ドライバのインストール

1：Windows を起動します。
2：「CROISU2」に AC アダプター、ケーブルを接続し、電源を入れます。
3：コンピュータに「CROISU2」を接続します。
4：コンピュータが自動的に Windows 標準のドライバを検索してインストールします。すでにフォーマット済みの HDD を組み込んだ場合は、マイコンピュータにハードディスクドライブが認識されます。フォーマットされていない HDD を接続した場合は、領域の確保とフォーマットが必要ですので、下記「領域の確保とフォーマット」をご参照ください。

■内蔵した HDD をダイナミックディスクでフォーマットしていた場合

ダイナミックディスクは取り外しのできない内蔵用を前提としたディスクの容量確保形式ですので、本製品のような外付け HDD ケースにダイナミックディスクでフォーマットした HDD を内蔵すると、データの認識ができない等の不具合が生じる場合があります。
この場合、HDD のデータを別の場所にバックアップを取り、ベーシックディスク形式でフォーマットしなおしてご利用ください。
ダイナミックディスクかベーシックディスクかを確認するには、次ページの「ディスクの管理」画面にて確認できます。

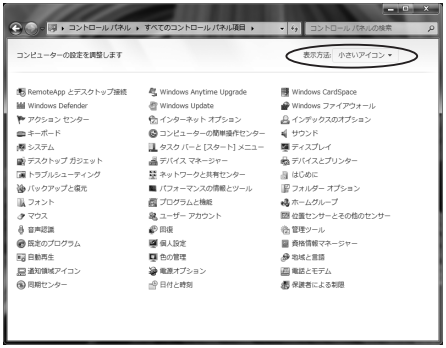
■領域の確保とフォーマット

注意：この説明では、ハードディスクドライブにパーティションを分割しない設定で領域を確保する前提での操作を説明しています。パーティションの分割等の操作については、Windows の説明書や参考書籍などをご参照ください。

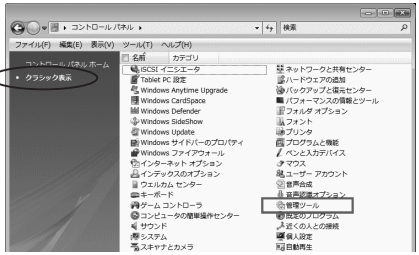
□ Windows 7、Windows Vista の場合

1.

フォーマットをするアプリケーションを起動するために、スタートから



【コントロールパネル】→【表示方法：小さいアイコン】→【管理ツール】
（Windows 7 の場合：左図）



【コントロールパネル】→【クラシック表示】→【管理ツール】
（Windows Vista の場合：左図）

の順に開きます。

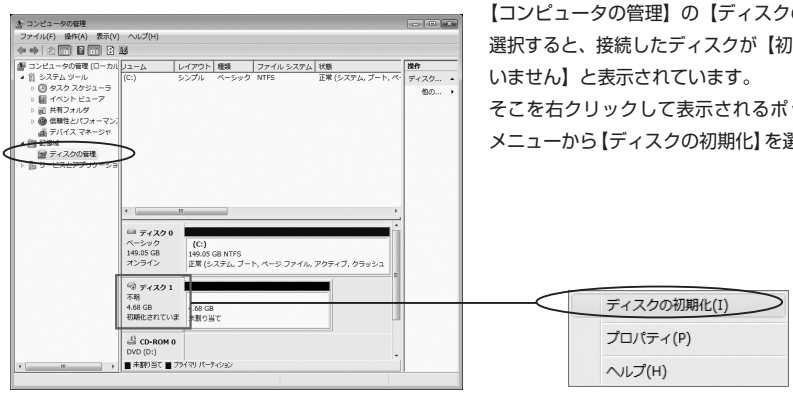
※コントロールパネルを開いても【クラシック表示】にしないと管理ツールが表示されませんのでご注意ください。

2.

【管理ツール】の中の【コンピュータの管理】を開きます。

※ Windows Vista の場合、【ユーザーアカウント制御】ウインドウが表示されます。【続行】をクリックしてください。続行できない場合はユーザーに管理者としての権限がありません。システムの管理者にご相談ください。

3.



【コンピュータの管理】の【ディスクの管理】を選択すると、接続したディスクが【初期化されていません】と表示されています。
そこを右クリックして表示されるポップアップメニューから【ディスクの初期化】を選択します。

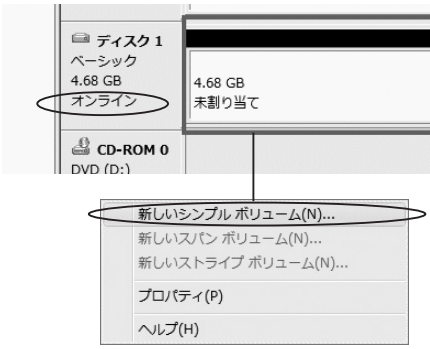
4.

【ディスクの初期化】ウインドウが表示されます。

先ほど選択したディスクで間違いないかを確認して【OK】をクリックします
※パーティションスタイルについて
パーティションスタイルに関しては 2TB 以上の容量を扱う場合以外は、MBR 形式を使用する事をお勧めします。

GPT 形式は、Windows2000 や WindowsXP 等では読み書きすることができません。
また、ハードウェアの仕様によって、2TB を超える容量が扱えない場合もございます。
GPT 形式であれば 2TB を超える容量が扱える訳では無いことに注意してください。

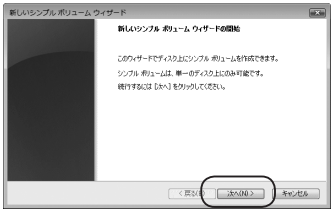
5.



【ディスクの初期化】が完了するとディスクの状態が【オンライン】に変わります。
この状態ではまだ使用できませんので、ボリュームを作成してフォーマットする必要があります。

ディスク名の表示の右側の、容量が表示されているところを【右クリック】すると、ポップアップメニューが表示されますので【新しいシンプルボリューム】を選択します。

6.



【新しいシンプルボリュームウィザード】が表示されます。
設定する箇所はありませんので【次へ】をクリックします。

7.

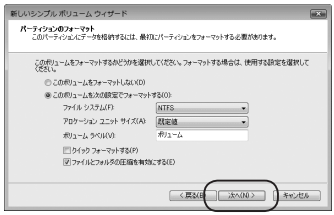
【ボリュームサイズの指定】が表示されます。
MB（メガバイト）単位でボリュームサイズを指定します。
ここで指定したサイズがパーティションサイズとなりますので、任意の数値を指定してください。特に指定しなければ最大容量で設定されます。
設定したら【次へ】をクリックします。

8.

【ドライブ文字またはパスの割り当て】ウインドウが表示されます。
ドライブ文字はマイコンピュータやエクスプローラで割り当てられるドライブのアルファベットです。通常、C が起動ドライブで以降アルファベット順に割り当てられます。特に指定がなければ空いている割り当て番号の一番若いアルファベットが割り当てられます。

【次の空の NTFS フォルダにマウントする】と【ドライブ文字またはドライブ パスを割り当てない】は通常使いませんので選択しないでください。
こちらの機能を選択する場合は、Windows のヘルプや参考書をご参照ください。

9.



【パーティションのフォーマット】ウインドウが表示されます。

・ファイルシステム
NTFS と FAT32 が選択可能です。

※ FAT32 では 32GB 以上の領域をフォーマットできませんので、32GB 以上の領域を使用する場合は NTFS でフォーマットを行ってください。

・アロケーションユニットサイズ
パーティションのアロケーションユニットサイズを指定します。特に使用するアプリケーション等の指定がない限り、規定値で問題ありません。

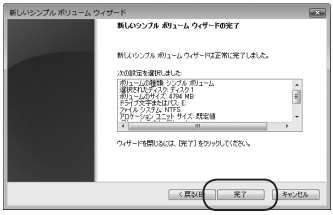
・ボリュームラベル
マイコンピュータ等から表示されるボリュームラベルを設定します。

・クイックフォーマット
このチェックボックスを有効にすると、フォーマットする際にクイックフォーマットでフォーマットを行います。通常のフォーマットと違い、ディスクの全領域をベリファイしませんので、時間がかからない替わりに、不良セクタ等の代替も行われません。お使いのディスクの状態に合わせて選択してください。

・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
このチェックボックスを有効にすると、ファイルとフォルダの圧縮が有効になります。
通常よりも大きな容量を使用できるようになりますが、パフォーマンスの面では圧縮されていない状態よりも劣ります。
一部のアプリケーションではこの設定が推奨されていないこともありますのでご注意ください。

設定が終わりましたら、【次へ】をクリックします。

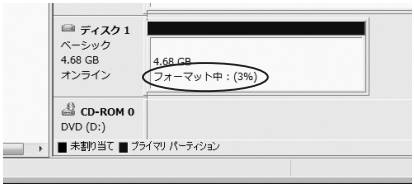
10.



【新しいシンプルボリュームウィザードの完了】ウインドウが表示されます。

テキストボックスの設定を確認して【完了】をクリックするとフォーマットが開始されます。

11.

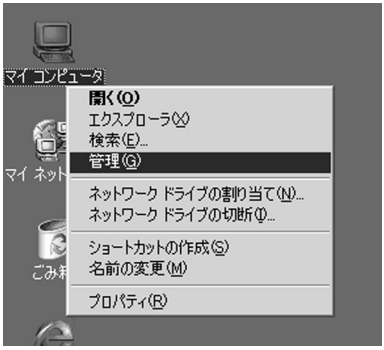


これでフォーマットの作業は完了です。
ディスクの管理の容量表示ウインドウには、フォーマット完了までの進行状況が表示されます。
フォーマットが完了すると、マイコンピュータにディスクが表示され、使用可能になります。

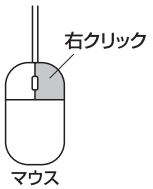
□ WindowsXP の場合

注意：フォーマットにはアドミニストレータ権限を持っているユーザでログインして行ってください。

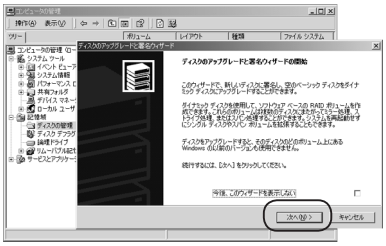
1.



デスクトップのマイコンピュータを「右クリック」で開き「管理」を選択します。
「コンピュータの管理」ウインドウが開きます。

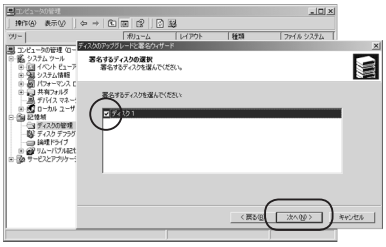


2.



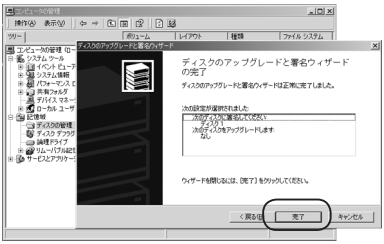
「コンピュータの管理」ウインドウの「ツリー」の中から「ディスクの管理」を選択すると、「ディスクのアップグレードと署名ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

3.



「署名するディスクの選択」ウインドウが表示されます。
署名するディスクにチェックを入れて「次へ」をクリックします。

4.

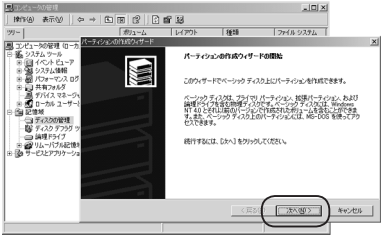


「ディスクのアップグレードと署名ウイザード完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウインドウを閉じます。

5.

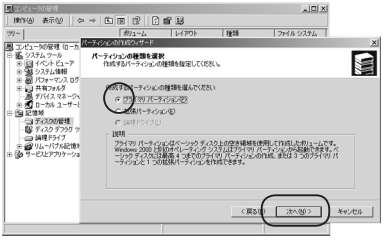
次にパーティションの作成を行います。
「未割り当て」と表示され、斜線になっているディスクがフォーマットされていないディスクですので、「未割り当て」と表示されている部分を「左クリック」で選択し、「右クリック」でメニューを開き、「パーティションの作成(P)..」を選択します。

6.



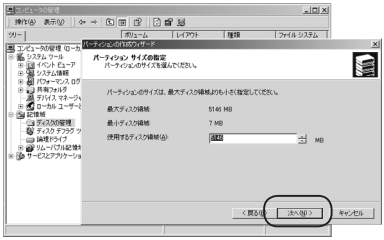
「パーティション作成ウイザード」が表示されます。
「次へ」をクリックします。

7.



「パーティションの種類を選択」ウインドウが表示されます。
「プライマリパーティション」を選択して「次へ」をクリックします。
※一つのディスク上に５つ以上のパーティションに分割する場合は、拡張パーティションを選択します。

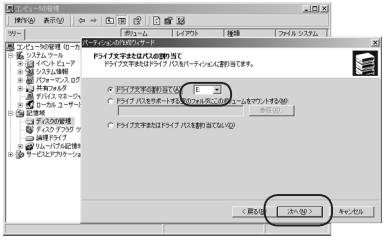
8.



「パーティションサイズの指定」ウインドウが表示されます。
「次へ」をクリックします。

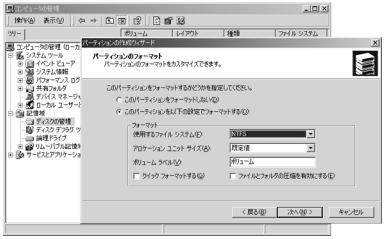
※既定値は最大容量（1 パーティション）ですが、複数のパーティションを作成するには、容量を減らし、「パーティション作成ウイザード」を繰り返して行う事で、複数のパーティションを作成する事ができます。

9.



「ドライブ文字またはパスの割り当て」ウインドウが表示されます。
ドライブ文字を指定して「次へ」をクリックします。
※「ドライブパスをサポートする空のボリュームにマウントする（M）」は WindowsXP の機能で、元々あったハードディスクの中に、新しいハードディスクを増設する方法です。詳しくはお使いの Windows の説明書、ヘルプ、参考書籍をご参照ください。

10.



「パーティションのフォーマット」ウインドウが表示されます。
このウインドウでフォーマット設定をする事ができます。

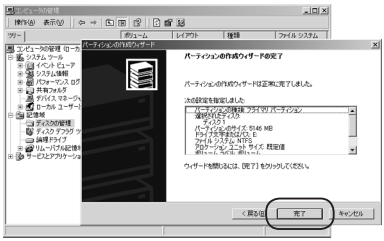
・使用するファイルシステム
NTFS と FAT32 が選択可能です。

※ WindowsXP では 32GB を越える FAT32 ボリュームをフォーマットする事ができません。

・アロケーションユニットサイズ
アロケーションユニットの大きさを設定します。通常は既定値のまま変更する必要はありません。
・ボリュームラベル
「マイコンピュータ」で表示されるボリューム名です。指定しなければ既定の「ボリューム」というボリュームラベルが設定されます。
・クイックフォーマットする
このチェックボックスを入れておくとフォーマット時にクイックフォーマットを行います。
以前フォーマットされていた HDD のみ使用可能です。新規のディスクはクイックフォーマットする事ができません。
・ファイルとフォルダの圧縮を有効にする
Windows のファイル圧縮機能を使用します。
ファイルを圧縮して格納する事により、実際の容量よりも大きく使用する事が可能ですが、仕様的にファイルの読み書き速度の低下を招くようです。詳しくはお使いの Windows の説明書、ヘルプ、参考書籍等をご参照ください。

全て設定して「次へ」をクリックします。

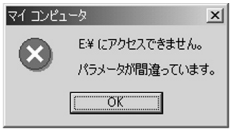
11.



「パーティション作成ウイザードの完了」ウインドウが表示されます。
「完了」をクリックして閉じます。

12.

フォーマットが開始されます。
「ディスクの管理」で表示されるステータスが「フォーマット中」になります。
進行状況が 100% になり、ステータスが「正常」になればフォーマット完了です。
使用可能になっていますので、マイコンピュータからディスクアイコンを開いてコピーなどを行ってみてください。

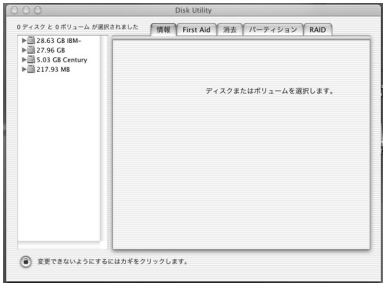


フォーマット中にディスクにアクセスしようとすると警告が表示されますが故障ではありません。
フォーマット中は、コンピュータ、本機の電源を切ったり、ケーブルを取り外したり、Windows を終了しないでください。
故障の原因となります

【Mac での使用方法】

MacOS X では MacOS 標準のドライバを使用します。
※あらかじめ MacOS9.x で初期化された物は、フォーマットせずに使用可能です。
MacOS X でのフォーマットは OS 標準の「Disk Utility」を使用します。

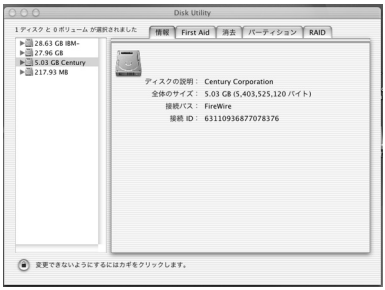
1.



「Disk Utility」を起動します。
※「Disk Utility」は、アプリケーション ＞ Utility の中にあります。
左側に接続されているフォーマット可能ディスクの一覧が表示されます。
＜ 裸族のお立ち台 IDE プラス ＞ は、「xx GB Century」と表示されます。
（xx は接続した HDD の容量）

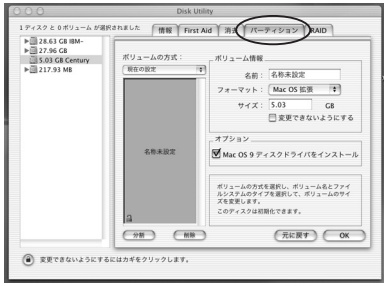
これをクリックして選択します。

2.



接続されているディスクの情報がされます。

3.



上の「パーティション」タブをクリックします。
パーティション設定を変更できます。

ボリュームの方式
：作成するボリューム数を選択します。8 つまで分割して作成する事が可能です。

ボリューム
：メディアの分割状況が表示されます。

ボリューム情報
：ボリューム情報は「ボリューム方式」で選択されたボリューム情報を変更します。「ボリュームの方式」で別のパーティションを選択するとパーティション毎に設定を変更する事が可能です。

名前
：作成するボリューム名を変更できます。変更しないと「名称未設定」という名前が付けられます。

フォーマット

：作成するボリュームのフォーマットを選択します。MacOS 標準、MacOS 拡張、UNIX ファイルシステム、空き容量が作成できます。通常は MacOS 標準か MacOS 拡張を選択してください。

サイズ

：作成するボリュームのサイズを変更できます。

オプション

：MacOS9 ディスクドライバをインストールチェックをすると MacOS9 で動作するドライバをインストールします。

分割

：選択されているボリュームを同じ容量で分割します。

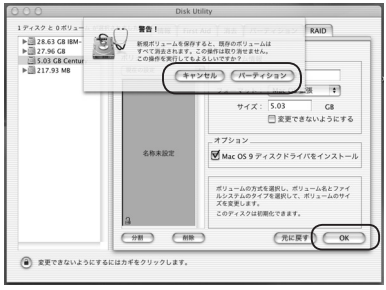
削除

：選択されているボリュームを削除します。

元に戻す

：直前の変更を元に戻します。

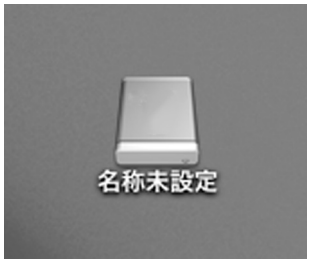
4.



全て決定したら右下の「OK」をクリックします。警告が表示されます。

作成する場合は「パーティション」を、キャンセルする場合は「キャンセル」をクリックします。

5.



パーティションが作成され、デスクトップにマウントされます。

取り外しをする場合はこのアイコンを Dock の中のごみ箱にドロップします。

【トラブルシューティング】

主なトラブルの対処方法を説明いたします。

「故障かな？」と思われましたら、以下をお読みのうえ、記載されている対処方法をお試しください。

■認識されない

以下をお試しください。

HDD が正常に差し込まれているか確認する。

接続ケーブル、AC ケーブルを確認する。

電源ケーブル、電源 LED が点灯しているかを確認する。

■ CROISU2 から OS が起動しない

OS 起動はサポートしておりません。

■電源ランプが点灯しても HDD が回転している音がしない

配線が正しく接続されているかをご確認ください。

また、添付のケーブル以外を接続されると、故障や事故の原因となりますので、必ず添付のケーブルをご使用ください。

■転送速度が遅い

USB1.1 接続の場合バスの転送速度が遅いため、高速な転送は行えません。

おおよそ 1MB/ 秒弱の転送速度となってしまいます。

【FAQ】

Q：使用できる HDD の最大容量は？

A：2TB（テラバイト）までとなります。

Q：カードリーダーのように HDD を抜き差しして使う事は可能ですか？

A：残念ながらできません。本機はあくまで HDD アダプターですので、電源を切った上で抜き差しをする必要があります。

> 電源を入れた状態で HDD を抜き差しすると、正常に認識しないばかりか、本機並びに HDD を故障させる可能性があります。

Q：着脱可能回数は何回ですか？

A：本機に装備されているコネクタの耐久性は 10000 回となっております。
HDD 側の方にも同様の耐久性が設定されておりますので、そちらは HDD の製造メーカーにお問い合わせください。

— ご注意 —

1．本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
2．本書の内容については、将来予告なく変更することが有ります。
3．本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたらご連絡ください。
4．運用した結果の影響については、【3.】項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5．本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはセンチュリーおよびセンチュリー指定のもの以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた損害等に付きましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

※記載の各会社名・製品名は各社の商標または登録商標です。

※ This product version is for internal Japanese distribution only.
It comes with drivers and manuals in Japanese.
This version of our product will not work with other languages operating system and we provide help support desk in Japanese only.

【販売・サポート】
株式会社 センチュリー

■サポートセンター
〒277-0872　千葉県柏市十余二翁原240-9
TEL 04-7142-7533（平日 午前10時～午後5時まで）FAX 04-7142-7525
http：//www.century.co.jp/　e-mail：support@century.co.jp
【お願い】修理をご依頼の場合、必ず事前にサポートセンターにて受付を行ってから発送をお願いいたします。